

新明解説

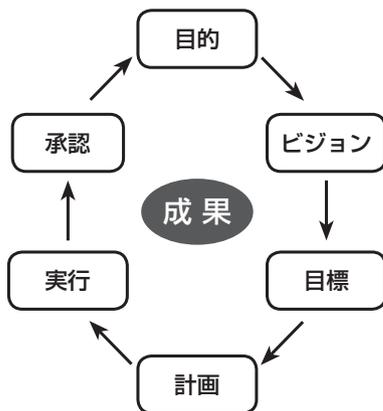
「成果を創り出すサイクル」の回し方

～ 人と組織の仕事に着実な好循環をもたらそう ～

グローバル・ビズ・サポート株式会社 講師 松好 登紀子

□働く人の意欲と自発性を引き出すために

あなたの組織で働く人は皆、意欲を持って自発的に仕事に取り組んでいますか？ それとも疲弊している人を見かけますか？ メンタル不全を起こしたり、身体を壊してしまっている人はいませんか？ 働く人が自発的に仕事に取り組み、各人が持っている能力を最大限発揮している環境はどのようにして創り出されるのでしょうか？ そのカギを握る「成果を創り出すサイクル」について紹介します。



目次

1 「成果を創り出すサイクル」を回そう

- ①「成果を創り出すサイクル」とは
- ②「成果」とは

2 「成果を創り出すサイクル」の様々なレベル

- ①1つひとつの仕事における「成果を創り出すサイクル」
- ②毎年の組織（チーム）目標における「成果を創り出すサイクル」
- ③職業における「成果を創り出すサイクル」
- ④人生における「成果を創り出すサイクル」

3 「成果を創り出すサイクル」が回らない理由

- ①組織の目的・ビジョンを生きていない
- ②部署の目的・ビジョンがない
- ③目標と目的、目標とビジョンの差別化をしていない

4 「成果を創り出すサイクル」を回すために必要なこと

- ①リーダーが目的・ビジョンを語る
- ②目標達成に「コミット」する
- ③リーダーが部下を承認する

- 承認とは
- 承認の2つの方法
- 承認するときの留意点
- 言葉以外で伝えている承認のメッセージ



●松好 登紀子（まつよし ときこ）

講師として日本全国の企業、自治体で登壇。管理職対象のリーダーシップ、マネジメント研修を多く担当。人が育つ環境づくりのための人事評価研修・目標管理研修は100%のリポート率。受講者主体の研修は受講者から「腑に落ちる気づきが多い」と、高い評価を受ける。社会保険労務士、キャリアコンサルタント、米国NLP協会認定トレーナー、社団法人教育文化振興会アソシエイト・トレーナー、MBTI認定ユーザー、DiSC認定コンサルタント、英検1級、TOEIC990点。

<http://www.gbsjpn.com/>